



# 一人一人が笑顔で輝くために

＜いばらき教育プラン＞  
活力があり、県民が日本一幸せな県  
(R4年度～)  
＜茨城県の教育目標＞  
○ ひとりひとりの能力を開発し豊かな人間性をつちかう  
○ しょうぶな身体をつくりたくましい心を養う  
○ 郷土を愛し協力しあう心を育てる

＜本校の教育目標＞  
夢や目標に向かって努力する、  
心豊かなたくましい生徒の育成  
～自分で考え行動できる生徒～

＜ひたちなか市教育目標＞  
夢、感動、笑顔がひろがる  
教育のまち ひたちなか  
○ ひとりひとりの能力を開発し豊かな人間性をつちかいます  
○ しょうぶな身体をつくりたくましい心を養います  
○ 家庭や地域と力をあわせ、豊かな心を育みます  
○ ふるさとを愛し協力しあう心を育てます  
○ 世界に視野を広げ国際人としての自覚を高めます  
※ 本市学校教育推進のためのキーワード  
**夢 感動 笑顔**

＜求める学校像＞  
「今日が楽しく、明日が待たれる心の居場所がある学校」  
○ 生徒が生き生きと楽しく学べる学校～学び喜びに「行きたい学校」～  
○ 教職員・生徒・保護者・地域等が共にある学校～安心して「行かせたい学校」～

＜求める生徒像＞  
「心豊かで、自ら学び、自己実現に励む生徒」  
**お** 思いやりと優しさに満ちあふれた生徒  
**お** おおらかで、広い心と礼儀正しい生徒  
**し** 使命感に燃え、実行力のある生徒  
**ま** 学ぶ意欲を高め、根気強く最後までやり抜く生徒

＜求める教師像＞  
「夢を抱き、生徒と共に成長し、信頼され尊敬される教師」  
○ 情熱と使命感にあふれる教師  
○ 常に自己研鑽し、指導力を高め、高い専門性と豊かな人間性をもつ教師  
○ 夢をもち、夢を語ることでできる教師  
＜情熱・力量・人間力＞

## スクールマニフェスト

- 授業改善を進め学力向上に努めます。  
①県学力診断テストで前年度より+2ポイント ②家庭学習に毎日取り組む生徒95% ③年間読書30冊以上が75%
- 心の教育を推進します。  
①いじめ重大事態と未解消ゼロ ②「基本的な生活習慣等ができていいる」と答える生徒90%  
③「学校が楽しい」と答える生徒90% (魅力ある学校づくりとして)
- 安心安全な学校・体力の向上に努めます。  
①体力テスト(A+B)50%以上 ②朝食摂取100% ③誤食事故、交通事故ゼロ
- 保護者の皆様との連携に努めます。  
①授業参観・学校行事への保護者参加率70%

## 本年度の重点課題及び努力事項

＜わかる・できる喜びを＞	＜豊かな心の育成を＞	＜たくましいからだづくりを＞	＜生きる喜びの実感を＞
<b>1 基礎・基本の定着</b> ○ 体験的な学習や反復学習の実施 ○ 効果的な個別指導、少人数指導 ○ 家庭学習の習慣化 ○ 「学びの5か条」の定着 <b>2 授業改善</b> ○ 新学習指導要領の確実な実践 ○ 授業の工夫・改善 ・課題と評価の提示 ・ICTの活用 ・効果的な「学び合い」の場の設定と表現活動の充実 ○ 単元を単位とした評価計画 <b>3 継続性を重視した教科経営</b> ○ 小中連携による学力向上対策 ○ キャリア教育の充実 <b>4 読書活動の充実</b>	<b>1 思いやりの心の育成</b> ○ 道徳の時間を要とした全教科領域を通じた心の耕し ○ 体験活動、ボランティア活動、行事への積極的な参加 <b>2 明るい集団づくり</b> ○ 互いに認め合い、支え合う人間関係づくり ○ 所属感や存在感が実感できる笑顔を生み出す学級経営 ○ 基本的な生活習慣の確立 ○ 集団を高めるリーダーの育成 <b>3 生徒理解の推進</b> ○ 組織的生徒指導体制の構築 ○ 客観的な生徒理解の充実 ・Q-U、生活アンケートの活用 ○ 小中間の情報の共有	<b>1 体力の向上</b> ○ 保健体育の授業の工夫改善 ○ 部活動への積極的な取組 ○ 休み時間の運動の奨励 <b>2 自己管理能力の育成</b> ○ 基本的な健康管理意識向上 ・感染症予防対策の励行 ・「早寝早起き朝ご飯」の推進 ○ 食育の充実 ・バランスのよい食事の推進 ・食物アレルギーへの対応 <b>3 危機管理意識の向上</b> ○ 安全教育の充実 ○ 危機管理の確認と予防 → 危険箇所の把握・対応	<b>1 特別支援教育の充実</b> ○ ニーズに応える支援 ○ 個別の支援計画に基づく共通実践と理解促進 ○ 保護者の思いの共有 ○ 小中間の情報の共有 ○ 校内支援委員会の充実 ○ 交流学級での協力推進 ○ 特支学級間の交流推進 <b>2 長欠対策</b> ○ 長欠対策委員会の開催と支援計画作成・実施 ○ 関係機関との連携・情報の共有 <b>3 SDGSの意識向上</b> ○ 総合的な学習との関連付け

**組織目標**

- ICT機器の積極的な活用  
○魅力ある授業づくりをとらして、生徒の学力を向上を図る。
- 働き方改革の推進  
○月3回の定時退勤日を元に効率的な働き方を意識し、月の超過在校等時間を45時間以内にする。

＜職員研修の充実 ～教育公務員としての「意識向上」を～＞  
 ○ICT機器(タブレット、デジタル教科書、電子黒板)効果的な活用  
 ○教員評価、研修を生かした教師の指導力の向上と学校の活性化(研修: 服務規律の確保、ソフトウェア、体罰防止等)  
 ○授業の工夫改善、危機管理の高揚(研修: 学習の流れが分かる授業、課題と評価の提示、話し合いの場の設定、危機管理)  
 ○一人一授業公開、校内研修の定期的開催、他校や研修会等への積極的派遣  
 ＜働き方改革の推進 ～生徒と関わる時間の確保と教職員の心身の健康維持のために～＞  
 ○教職員一人一人の意識化の徹底・・・超過在校等時間月80時間ゼロ、月45時間以内の達成  
 ○月4回の部活動休養日、月3回の定時退勤日の設定、  
 ○校務用PC、C4thの有効活用(ペーパーレス化、会議の効率化)  
 ＜開かれた学校 ～保護者・地域との心の触れ合う連携、協力体制の構築のために～＞  
 ○積極的な情報提供(学校だより、学校ホームページ等) → 定期的なアンケート調査と結果の公表  
 ○学校・保護者・地域との連携 → ミニマール(学校運営協議会の開催)の推進、教育ボランティア、外部指導者の活用  
 ＜服務規律の確保に向けた取組 ～信頼される教師であるために～＞  
 ○ボトムアップを中心としたコンプライアンス研修の定期的開催、教員評価にコンプライアンスの項目を設置、同僚性の高い職場環境の創造